

学校自己評価(2020 年度 教職員による自己評価、改善の方策等)

1 教育方針

校訓である「立志」「誠実」「努力」の精神を基盤として、秩序立てて事当たる合理的な資質、物事に熱意をもって主体的に挑戦し貫徹する姿勢、他者に共感し思いやることのできる包容力ある態度を培い、実社会への応用を視野に入れた「確かな学力」と「豊かな人間性」とを備えた人材を養う。そして、未来を切り拓くことを志向し現代の課題を発見して解決に向け、行動できる「考える人」を育てる。

2 本年度の重点目標

(1) 信頼できる学校を目指し、基礎的な知識及び技能の確実な習得と定着を図る。また魅力ある特色類型とそのための科目開発を行い、より一層学力の向上を推進する。

(2) 人間理解に基づいた指導を通して規律ある生活態度を育成し、善悪の判断力を培い、生活習慣の確立とマナー向上を目指す。また家庭や地域との連携を図り、きめ細かく丁寧な教育実践を展開する。

(3) 高校生ふふさと貢献事業、就業体験事業を推進し、幼稚園・小学校・中学校・社会福祉施設、社会福祉協議会との連携を図り、地域と共に育てる「地域共育」を実践する。

(4) 学校評議員制度及び学校関係者評価を活用して、学校評価の一層の充実を図り、地域に開かれた特色ある学校づくりを推進する。

(5) 研修を深め、教職員としての専門性・実践的指導力を磨き、社会の変化に対応した教育観を養うとともに、互いを認め励まし合う明るく爽やかな職場づくりを実行する。

評価の観点	評価項目	取組内容	2020	昨年度	前年比	成果と課題、改善の方策など	学校評議員からの意見
学習指導	基礎・基本の徹底	1「年間指導計画」や「シラバス」等で学習目標を明確に示し、生徒が学習目標を設定しやすいようにする。	75	75	0.00	1)年度初めの最初の授業では、必ずシラバスを配布し、年度末の振り返り方を説明することができるよう努力したい。	コロナ禍なので、従来の通りの学校行事を運営するのは至難であり、中止や延期になることはやむを得ないと思います。本当に不可欠な行事は何か、省略できる行事は何かを、どのようにして選別しておられるのでしょうか。この災いを奇貨として、多岐にわたる従来の行事をスリム化し、教員が本来の教育活動に集中できるようにしていかねばいでしょうか。 アンケート評価の換算について 平均という換算方法には、以前から違和感があります。単純に4段階の人数を記載した方が問題の把握がしやすいと思います。特に4の「そう思う」と1の「思わない」の対称を平均することは問題の可視化ができません。 例1)本校は、いじめがないと思うか？というアンケート 4. そう思う・・・99人、思わない・・・1人＝換算数値が99％となるが・・・個人的には、『思わない』の1人は無視できない。 例2)この靴は売れると思うか？というアンケート 4. そう思う・・・1人、思わない・・・99人＝換算数値が25％となるが・・・商売的には、売れると思った1人は無視できない。少数意見は、ヒット商品を生むための重要な要因となることが多い。 ＊極端な設定ですが、経営戦略という視点で見ると、平均は全く意味がなくなるという事になります。 評価のポイントが今回及び前年の2年分を掲載されるスタイルが踏襲されていますが、過去5年分程度は比較のために掲載してもよいのではないかと思います。また、その際には掲載性を高める観点から、グラフ化していただくと良いように思います。新型コロナウイルスの影響により学校生活に多大な影響があったのだと思いますが、生徒の皆さんの評価が前年度より高かったのは、どういった要因があるのか知りたいところです。 生徒アンケート11. 12. 13の評価が高かったことと、教職員アンケート3. 4. 5. 21の評価が低かったこととの関係性について、掘り下げて検証してもらいたいと感じました。 PTA・学校評議員・地域住民の学校行事などへの参加協力により、地域と共に生徒を育成する。」が8ポイント低くなっているなど、一部の軽微の例外を除き、軒並み評価を下げています。新型コロナウイルス禍のさなかであり、職場環境が変化したことが、大きく学校評価を低下させた原因ではないかと考えられます。個別には以上です。教職員の学校評価の悪化が生徒の評価の向上より対照的ですが、本来的には、生徒も保護者も教職員も、評価は少しずつでも確実に上昇していくことが歴史と伝統のある須磨東高校には望ましいといえるのではないのでしょうか。それから、教職員の学校評価だけは、同じ人物が何年にもわたって評価できるという意味で生徒や保護者のそれより数値の推移に偏見性が高いと考えられますので、ここは慎重に分析していただくよりかもしれないと思います。たとえば、16f 人権尊重の視点に立ち、情報を主体的に収集、選択し、有効に活用したり、発信・伝達する能力を育成する。」が9ポイントも下がって6パーセントにまで落ちたことについて、教員の方々に身近で具体的な人権問題の存在が顕著に浮かんてくる可能性がないかといった検討が有益だと思います。
		2 学力を的確に把握し、課題を適切に与えるなど学習習慣の定着を図る指導をする。	87	86	1.00	2)年間指導計画は、教科書目次等の活用など全教科で生徒に提示できるように努力したい。	
	学習意欲の向上	3 わかる授業、達成感や成就感が得られる授業を行う。	81	87	▲ 6.00	3)各教科で各項目を理解するうえで知識・論理の段階的な理解を積み上げる必要性を検討していく。	
		4 進路相談会・講演会等を通じ計画・実施し、学習の動機付けをおこなう。	82	88	▲ 6.00	4)「思考の流」を示すためにプリントによる授業進行が有効であったので継続したい。	
生徒指導	個に応じた指導の充実	5 カリキュラムの検討を行い、能力・適性・進路等に応じた類型、選択科目ができる工夫をする。	76	77	▲ 1.00	5)公開授業の開催を通じ、教職員全員でわかる授業づくりを推進していきたい。	1)授業等で、教科・科目内容に沿った、進路について考えるきっかけや、進路を考える上での方針などを示せたので今後も継続したい。 2)令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり計画した講演会等が実施できなかったが次年度に向けて対策等を検討し実施したい。 3)夏休みの三者面談以外にも適宜個別面談を実施し、入学後すぐの段階で、面談週間などが実施できないか今後も検討したい。 2)次年度の科目選択にあたり、教科としての選択と進路へのつながりを提示するに必要な工夫を検討したい。
		6 学校行事や部活動を通して自主・自律の精神を養う。	78	84	▲ 6.00	6)Hk教室設置のプロジェクトを効果的に授業に活用するとともに日々の小テストや補習ができるように、工夫が必要である。	
	人間的なふれあいにもとづく生徒指導	7 校則・マナー・時間を守るなど基本的な生活習慣を身に付けさせる指導を行い、社会人基礎力を養う。	77	81	▲ 4.00	7)ルールが形骸化しているものについては、廃止か改善を検討していく。	
		8 学校行事の精選を行い、行事の内容を充実させる。	73	74	▲ 1.00	2)生徒の多様化に伴い、弾力的な制服使用ルールや制服の見直しを検討するべき時期だと考え、今後も改善を推進していく。	
特別活動	特別活動の充実	9 生徒会活動や委員会活動を活発にする。	78	82	▲ 4.00	1)生徒会の自主的な活動ができるように、生徒会を支援すると共に、生徒が主体的に考え、取り組むことで満足度の高い行事を計画したい。	2)現在活発な生徒会活動ができている。今後も継続したい。 1)授業のなかで、折に触れて衛生や健康について考えるきっかけを提供していきたい。 2)新型コロナウイルス感染症をきっかけに今後も自分の健康について深く考える機会となったので今後も継続できるよう努力したい。 1)避難訓練はもとより、震災の体験を語り継ぐことのできる防災教育について機会をもうけたい。 2)外部の防災学習に関する研修会など積極的な参加により、命を守る、災害時にむけて未然に備えるなどの教育を実施したい。 1)人権委員会の活動が部の定期的な行事提案をするだけになっていることを避けるため学年の活動を中心にした内容も検討したい。 2)SNSなどサイバー空間での言動やネット利用の節制について考えさせる機会を設けることも検討して行く。 3)各学年における人権教育の指針をしっかりとできるように努力したい。 4)学年間の連携を図るために担当分掌が大方決まる⇒学年担当が学年での実践案を考える等の組織的な運用も検討したい。 5)人権教育にもアクティブラーニングの手法を導入していきたい。 1)新型コロナウイルス感染症による中止が続く中で、各分掌とも臨機応変な対応と努力ができたので今後も継続したい。 2)「職業人インタビュー」は、単元の内容から「就業体験」というよりは、社会参画のためのコンテンツの一つであるという認識もと実施を検討したい。 1)ネット上のPDFファイル(雑誌バックナンバー、サマリーなど)を読むきっかけを、授業プリントの中で与えることを今後も継続したい。 2)司書もしくは図書担当者を配置できるように検討したい。 3)生徒の図書室利用推進を図るための工夫を今後も検討していく。 4)図書館専属の司書を配置、図書館を整理、貸し出しのためのネット整備などをする分掌も検討したい。 5)図書室でWiFiを活用出来るように、インターネットの検索など出来るような機器の準備を推進していく。 1)ICTによる技術・新の内容により生徒を取り巻く情報環境は複雑化しているため情報専門教員の配置について今後も検討したい。 2)情報に関する取扱いについては危険性を多く含むため日常から継続して考える機会を設けることも検討したい。 1)各学年団が綿密な計画のもと進路面談が実施されているので今後も継続したい。 2)早期から具体的な進路目標を考える機会を設け、実現に向けた取り組みを実施してきたので、今後も継続して推進したい。 3)授業内容の充実や家庭学習への取り組みの向上など、今後もさらに工夫を加え実施していきたい。 1)特別指導委員会を必ず開いて、委員の意見を拾う事が出来体制を維持するよう努力したい。 2)生徒指導事案など職員全員で共有し共通理解のもと指導していく体制が構築できるよう工夫したい。 1)キャンパスカウンセラーによる教育相談の教育効果は大きい。今後も継続して学年との連携を進めていきたい。 2)またも教員の研修を推進し、学年と保健部とが連携して、対応できるよう推進していく。 1)拡大進路部会での連絡を密にし、学年間の連携を図るとともに3年間の見直しを持つことができる指導をさらに充実したい。 2)各年度の振り返りによる次年度への目標を共通理解するなど再度確認したい。 1)職員の学校評価への関心を高め、改善を図るよう努力したい。 2)PTA理事会(教務部会、進路指導部会、生徒指導部会)を定期的に開き、学年団と部の連携を図りたい。 3)学年会議を学期初めに開き、放課後の時間を活用し、放課後の研修会を開き、より具体的な指導方法も検討したい。 4)学校評価は、「実施した」「実施しなかったか」を評価するのではなく、よりよく学校を改善する指標として扱いたい。 1)校内LANの積極的活用により業務の効率化を目指し、各種会議での導入を行い、ペーパレス化の一層の推進に務めたい。 2)情報セキュリティにおける研修開催など今後も検討していきたい。 1)部活動と学習の両立に向け、考査前の活動時間や終了時間を厳格化するよう職員で共通理解を図りたい。 2)本校のスタンスを明確にし共通理解を図ったうえで、短時間で集中した練習内容もさらに検討していきたい。 1)PTA理事会には校務運営委員会との全員が積極的に意見交換できるよう努力したい。 2)PTA理事等の勤務時間で行うように運用し、職員への共通理解をさらに深めたい。 3)学校ホームページは限られた分掌や範囲でしか情報発信が行われていないかという点や受信者の視点から見れば偏った情報になってしまっているのではないかと、今後も検討したい。 1)県警やパラインの警視を警察との連携で実施できた。今後も積極的な警視との連携を検討したい。 2)本校は避難所ではないが、それだけに災害時に本校の職員にどのような役割が期待されているのかも共有できるよう改善したい。 1)各科目内での科目内容への検討や議論は常态化しているかどうかの検証も必要である。常にアンテナを張り続けることを継続していきたい。 2)様々な研修会に積極的参加し、新しい知見を得るため努力したい。 3)授業公開週間を設け、同じ教科だけでなく、異なる教科の授業を見学し、お互いにコメントし、学校全体で作り上げる授業を目指したい。 (60分)見学することを強いる、否定的なコメントをしないこと、同一教科・異教科の授業をそれぞれ必ず一度は見学することをルールとする。
		10 生徒会活動や委員会活動を活発にする。	78	82	▲ 4.00	2)次年度の科目選択にあたり、教科としての選択と進路へのつながりを提示するに必要な工夫を検討したい。	
	保健・安全教育	11 健康生活に必要な知識を理解・体得させ、健康管理に心掛ける意欲を育成する。	80	83	▲ 3.00	1)新型コロナウイルス感染症をきっかけに今後も自分の健康について深く考える機会となったので今後も継続できるよう努力したい。	
		12 防災学習や防災訓練を通して防災に関する意識や知識・技能を定着させる。	82	82	▲ 82.00	1)避難訓練はもとより、震災の体験を語り継ぐことのできる防災教育について機会をもうけたい。	
課題教育	防災教育	13 人権教育を中心にした講演会やホームルーム活動等を活用し、人権意識を高める。	72	76	▲ 4.00	2)外部の防災学習に関する研修会など積極的な参加により、命を守る、災害時にむけて未然に備えるなどの教育を実施したい。	
		14 「クリーン作戦」「すまひがし夏の体験学習」「ワークキャンプ」などの活動を通して、地域貢献事業を活性化化する。	81	81	▲ 81.00	1)人権委員会の活動が部の定期的な行事提案をするだけになっていることを避けるため学年の活動を中心にした内容も検討したい。	
	人権教育	15 「ふれあい看護」「ふれあい保育」「職業人インタビュー」などの体験的学習を通して、就業体験事業を活性化化する。	73	79	▲ 6.00	2)SNSなどサイバー空間での言動やネット利用の節制について考えさせる機会を設けることも検討して行く。	
		16 読書の推進、啓発を図ると同時に、図書および図書館の利用の推進について指導する。	65	63	2.00	3)各学年における人権教育の指針をしっかりとできるように努力したい。	
進路指導	図書指導	17 読書の推進、啓発を図ると同時に、図書および図書館の利用の推進について指導する。	65	63	2.00	4)学年間の連携を図るために担当分掌が大方決まる⇒学年担当が学年での実践案を考える等の組織的な運用も検討したい。	1)新型コロナウイルス感染症による中止が続く中で、各分掌とも臨機応変な対応と努力ができたので今後も継続したい。 2)「職業人インタビュー」は、単元の内容から「就業体験」というよりは、社会参画のためのコンテンツの一つであるという認識もと実施を検討したい。 1)ネット上のPDFファイル(雑誌バックナンバー、サマリーなど)を読むきっかけを、授業プリントの中で与えることを今後も継続したい。 2)司書もしくは図書担当者を配置できるように検討したい。 3)生徒の図書室利用推進を図るための工夫を今後も検討していく。 4)図書館専属の司書を配置、図書館を整理、貸し出しのためのネット整備などをする分掌も検討したい。 5)図書室でWiFiを活用出来るように、インターネットの検索など出来るような機器の準備を推進していく。 1)ICTによる技術・新の内容により生徒を取り巻く情報環境は複雑化しているため情報専門教員の配置について今後も検討したい。 2)情報に関する取扱いについては危険性を多く含むため日常から継続して考える機会を設けることも検討したい。 1)各学年団が綿密な計画のもと進路面談が実施されているので今後も継続したい。 2)早期から具体的な進路目標を考える機会を設け、実現に向けた取り組みを実施してきたので、今後も継続して推進したい。 3)授業内容の充実や家庭学習への取り組みの向上など、今後もさらに工夫を加え実施していきたい。 1)特別指導委員会を必ず開いて、委員の意見を拾う事が出来体制を維持するよう努力したい。 2)生徒指導事案など職員全員で共有し共通理解のもと指導していく体制が構築できるよう工夫したい。 1)キャンパスカウンセラーによる教育相談の教育効果は大きい。今後も継続して学年との連携を進めていきたい。 2)またも教員の研修を推進し、学年と保健部とが連携して、対応できるよう推進していく。 1)拡大進路部会での連絡を密にし、学年間の連携を図るとともに3年間の見直しを持つことができる指導をさらに充実したい。 2)各年度の振り返りによる次年度への目標を共通理解するなど再度確認したい。 1)職員の学校評価への関心を高め、改善を図るよう努力したい。 2)PTA理事会(教務部会、進路指導部会、生徒指導部会)を定期的に開き、学年団と部の連携を図りたい。 3)学年会議を学期初めに開き、放課後の時間を活用し、放課後の研修会を開き、より具体的な指導方法も検討したい。 4)学校評価は、「実施した」「実施しなかったか」を評価するのではなく、よりよく学校を改善する指標として扱いたい。 1)校内LANの積極的活用により業務の効率化を目指し、各種会議での導入を行い、ペーパレス化の一層の推進に務めたい。 2)情報セキュリティにおける研修開催など今後も検討していきたい。 1)部活動と学習の両立に向け、考査前の活動時間や終了時間を厳格化するよう職員で共通理解を図りたい。 2)本校のスタンスを明確にし共通理解を図ったうえで、短時間で集中した練習内容もさらに検討していきたい。 1)PTA理事会には校務運営委員会との全員が積極的に意見交換できるよう努力したい。 2)PTA理事等の勤務時間で行うように運用し、職員への共通理解をさらに深めたい。 3)学校ホームページは限られた分掌や範囲でしか情報発信が行われていないかという点や受信者の視点から見れば偏った情報になってしまっているのではないかと、今後も検討したい。 1)県警やパラインの警視を警察との連携で実施できた。今後も積極的な警視との連携を検討したい。 2)本校は避難所ではないが、それだけに災害時に本校の職員にどのような役割が期待されているのかも共有できるよう改善したい。 1)各科目内での科目内容への検討や議論は常态化しているかどうかの検証も必要である。常にアンテナを張り続けることを継続していきたい。 2)様々な研修会に積極的参加し、新しい知見を得るため努力したい。 3)授業公開週間を設け、同じ教科だけでなく、異なる教科の授業を見学し、お互いにコメントし、学校全体で作り上げる授業を目指したい。 (60分)見学することを強いる、否定的なコメントをしないこと、同一教科・異教科の授業をそれぞれ必ず一度は見学することをルールとする。
		18 読書の推進、啓発を図ると同時に、図書および図書館の利用の推進について指導する。	65	63	2.00	5)人権教育にもアクティブラーニングの手法を導入していきたい。	
	情報教育	19 人権尊重の観点に立ち、情報を主体的に収集、選択し、有効に活用したり、発信・伝達する能力を育成する。	69	76	▲ 7.00	1)ICTによる技術・新の内容により生徒を取り巻く情報環境は複雑化しているため情報専門教員の配置について今後も検討したい。	
		20 Hk活動や進路説明会などを通して、将来の職業選択につながる進路指導を育成する。	85	85	0.00	2)情報に関する取扱いについては危険性を多く含むため日常から継続して考える機会を設けることも検討したい。	
学校運営全般	進路指導の充実	21 個別面談等を行い、生徒・保護者の進路希望を把握し、進路実現のために適切な助言・指導等を行う。	88	87	1.00	1)各学年団が綿密な計画のもと進路面談が実施されているので今後も継続したい。	1)特別指導委員会を必ず開いて、委員の意見を拾う事が出来体制を維持するよう努力したい。 2)生徒指導事案など職員全員で共有し共通理解のもと指導していく体制が構築できるよう工夫したい。 1)キャンパスカウンセラーによる教育相談の教育効果は大きい。今後も継続して学年との連携を進めていきたい。 2)またも教員の研修を推進し、学年と保健部とが連携して、対応できるよう推進していく。 1)拡大進路部会での連絡を密にし、学年間の連携を図るとともに3年間の見直しを持つことができる指導をさらに充実したい。 2)各年度の振り返りによる次年度への目標を共通理解するなど再度確認したい。 1)職員の学校評価への関心を高め、改善を図るよう努力したい。 2)PTA理事会(教務部会、進路指導部会、生徒指導部会)を定期的に開き、学年団と部の連携を図りたい。 3)学年会議を学期初めに開き、放課後の時間を活用し、放課後の研修会を開き、より具体的な指導方法も検討したい。 4)学校評価は、「実施した」「実施しなかったか」を評価するのではなく、よりよく学校を改善する指標として扱いたい。 1)校内LANの積極的活用により業務の効率化を目指し、各種会議での導入を行い、ペーパレス化の一層の推進に務めたい。 2)情報セキュリティにおける研修開催など今後も検討していきたい。 1)部活動と学習の両立に向け、考査前の活動時間や終了時間を厳格化するよう職員で共通理解を図りたい。 2)本校のスタンスを明確にし共通理解を図ったうえで、短時間で集中した練習内容もさらに検討していきたい。 1)PTA理事会には校務運営委員会との全員が積極的に意見交換できるよう努力したい。 2)PTA理事等の勤務時間で行うように運用し、職員への共通理解をさらに深めたい。 3)学校ホームページは限られた分掌や範囲でしか情報発信が行われていないかという点や受信者の視点から見れば偏った情報になってしまっているのではないかと、今後も検討したい。 1)県警やパラインの警視を警察との連携で実施できた。今後も積極的な警視との連携を検討したい。 2)本校は避難所ではないが、それだけに災害時に本校の職員にどのような役割が期待されているのかも共有できるよう改善したい。 1)各科目内での科目内容への検討や議論は常态化しているかどうかの検証も必要である。常にアンテナを張り続けることを継続していきたい。 2)様々な研修会に積極的参加し、新しい知見を得るため努力したい。 3)授業公開週間を設け、同じ教科だけでなく、異なる教科の授業を見学し、お互いにコメントし、学校全体で作り上げる授業を目指したい。 (60分)見学することを強いる、否定的なコメントをしないこと、同一教科・異教科の授業をそれぞれ必ず一度は見学することをルールとする。
		22 職業教育を推進し、就業体験事業を活性化化する。	73	79	▲ 6.00	2)新型コロナウイルス感染症をきっかけに今後も自分の健康について深く考える機会となったので今後も継続できるよう努力したい。	
	共通理解にもとづく生徒指導体制の確立	23 読書の推進、啓発を図ると同時に、図書および図書館の利用の推進について指導する。	65	63	2.00	3)各学年における人権教育の指針をしっかりとできるように努力したい。	
		24 読書の推進、啓発を図ると同時に、図書および図書館の利用の推進について指導する。	65	63	2.00	4)学年間の連携を図るために担当分掌が大方決まる⇒学年担当が学年での実践案を考える等の組織的な運用も検討したい。	
開かれた学校づくり	図書指導	25 読書の推進、啓発を図ると同時に、図書および図書館の利用の推進について指導する。	65	63	2.00	5)人権教育にもアクティブラーニングの手法を導入していきたい。	1)新型コロナウイルス感染症による中止が続く中で、各分掌とも臨機応変な対応と努力ができたので今後も継続したい。 2)「職業人インタビュー」は、単元の内容から「就業体験」というよりは、社会参画のためのコンテンツの一つであるという認識もと実施を検討したい。 1)ネット上のPDFファイル(雑誌バックナンバー、サマリーなど)を読むきっかけを、授業プリントの中で与えることを今後も継続したい。 2)司書もしくは図書担当者を配置できるように検討したい。 3)生徒の図書室利用推進を図るための工夫を今後も検討していく。 4)図書館専属の司書を配置、図書館を整理、貸し出しのためのネット整備などをする分掌も検討したい。 5)図書室でWiFiを活用出来るように、インターネットの検索など出来るような機器の準備を推進していく。 1)ICTによる技術・新の内容により生徒を取り巻く情報環境は複雑化しているため情報専門教員の配置について今後も検討したい。 2)情報に関する取扱いについては危険性を多く含むため日常から継続して考える機会を設けることも検討したい。 1)各学年団が綿密な計画のもと進路面談が実施されているので今後も継続したい。 2)早期から具体的な進路目標を考える機会を設け、実現に向けた取り組みを実施してきたので、今後も継続して推進したい。 3)授業内容の充実や家庭学習への取り組みの向上など、今後もさらに工夫を加え実施していきたい。 1)特別指導委員会を必ず開いて、委員の意見を拾う事が出来体制を維持するよう努力したい。 2)生徒指導事案など職員全員で共有し共通理解のもと指導していく体制が構築できるよう工夫したい。 1)キャンパスカウンセラーによる教育相談の教育効果は大きい。今後も継続して学年との連携を進めていきたい。 2)またも教員の研修を推進し、学年と保健部とが連携して、対応できるよう推進していく。 1)拡大進路部会での連絡を密にし、学年間の連携を図るとともに3年間の見直しを持つことができる指導をさらに充実したい。 2)各年度の振り返りによる次年度への目標を共通理解するなど再度確認したい。 1)職員の学校評価への関心を高め、改善を図るよう努力したい。 2)PTA理事会(教務部会、進路指導部会、生徒指導部会)を定期的に開き、学年団と部の連携を図りたい。 3)学年会議を学期初めに開き、放課後の時間を活用し、放課後の研修会を開き、より具体的な指導方法も検討したい。 4)学校評価は、「実施した」「実施しなかったか」を評価するのではなく、よりよく学校を改善する指標として扱いたい。 1)校内LANの積極的活用により業務の効率化を目指し、各種会議での導入を行い、ペーパレス化の一層の推進に務めたい。 2)情報セキュリティにおける研修開催など今後も検討していきたい。 1)部活動と学習の両立に向け、考査前の活動時間や終了時間を厳格化するよう職員で共通理解を図りたい。 2)本校のスタンスを明確にし共通理解を図ったうえで、短時間で集中した練習内容もさらに検討していきたい。 1)PTA理事会には校務運営委員会との全員が積極的に意見交換できるよう努力したい。 2)PTA理事等の勤務時間で行うように運用し、職員への共通理解をさらに深めたい。 3)学校ホームページは限られた分掌や範囲でしか情報発信が行われていないかという点や受信者の視点から見れば偏った情報になってしまっているのではないかと、今後も検討したい。 1)県警やパラインの警視を警察との連携で実施できた。今後も積極的な警視との連携を検討したい。 2)本校は避難所ではないが、それだけに災害時に本校の職員にどのような役割が期待されているのかも共有できるよう改善したい。 1)各科目内での科目内容への検討や議論は常态化しているかどうかの検証も必要である。常にアンテナを張り続けることを継続していきたい。 2)様々な研修会に積極的参加し、新しい知見を得るため努力したい。 3)授業公開週間を設け、同じ教科だけでなく、異なる教科の授業を見学し、お互いにコメントし、学校全体で作り上げる授業を目指したい。 (60分)見学することを強いる、否定的なコメントをしないこと、同一教科・異教科の授業をそれぞれ必ず一度は見学することをルールとする。
		26 キャンパスカウンセラーと連携した心の教育の充実	86	89	▲ 3.00	1)ICTによる技術・新の内容により生徒を取り巻く情報環境は複雑化しているため情報専門教員の配置について今後も検討したい。	
	組織的な進路指導の推進	27 読書の推進、啓発を図ると同時に、図書および図書館の利用の推進について指導する。	65	63	2.00	2)情報に関する取扱いについては危険性を多く含むため日常から継続して考える機会を設けることも検討したい。	
		28 読書の推進、啓発を図ると同時に、図書および図書館の利用の推進について指導する。	65	63	2.00	1)各学年団が綿密な計画のもと進路面談が実施されているので今後も継続したい。	
危機管理体制の確立	校務分掌の活性化	29 読書の推進、啓発を図ると同時に、図書および図書館の利用の推進について指導する。	65	63	2.00	2)新型コロナウイルス感染症をきっかけに今後も自分の健康について深く考える機会となったので今後も継続できるよう努力したい。	1)特別指導委員会を必ず開いて、委員の意見を拾う事が出来体制を維持するよう努力したい。 2)生徒指導事案など職員全員で共有し共通理解のもと指導していく体制が構築できるよう工夫したい。 1)キャンパスカウンセラーによる教育相談の教育効果は大きい。今後も継続して学年との連携を進めていきたい。 2)またも教員の研修を推進し、学年と保健部とが連携して、対応できるよう推進していく。 1)拡大進路部会での連絡を密にし、学年間の連携を図るとともに3年間の見直しを持つことができる指導をさらに充実したい。 2)各年度の振り返りによる次年度への目標を共通理解するなど再度確認したい。 1)職員の学校評価への関心を高め、改善を図るよう努力したい。 2)PTA理事会(教務部会、進路指導部会、生徒指導部会)を定期的に開き、学年団と部の連携を図りたい。 3)学年会議を学期初めに開き、放課後の時間を活用し、放課後の研修会を開き、より具体的な指導方法も検討したい。 4)学校評価は、「実施した」「実施しなかったか」を評価するのではなく、よりよく学校を改善する指標として扱いたい。 1)校内LANの積極的活用により業務の効率化を目指し、各種会議での導入を行い、ペーパレス化の一層の推進に務めたい。 2)情報セキュリティにおける研修開催など今後も検討していきたい。 1)部活動と学習の両立に向け、考査前の活動時間や終了時間を厳格化するよう職員で共通理解を図りたい。 2)本校のスタンスを明確にし共通理解を図ったうえで、短時間で集中した練習内容もさらに検討していきたい。 1)PTA理事会には校務運営委員会との全員が積極的に意見交換できるよう努力したい。 2)PTA理事等の勤務時間で行うように運用し、職員への共通理解をさらに深めたい。 3)学校ホームページは限られた分掌や範囲でしか情報発信が行われていないかという点や受信者の視点から見れば偏った情報になってしまっているのではないかと、今後も検討したい。 1)県警やパラインの警視を警察との連携で実施できた。今後も積極的な警視との連携を検討したい。 2)本校は避難所ではないが、それだけに災害時に本校の職員にどのような役割が期待されているのかも共有できるよう改善したい。 1)各科目内での科目内容への検討や議論は常态化しているかどうかの検証も必要である。常にアンテナを張り続けることを継続していきたい。 2)様々な研修会に積極的参加し、新しい知見を得るため努力したい。 3)授業公開週間を設け、同じ教科だけでなく、異なる教科の授業を見学し、お互いにコメントし、学校全体で作り上げる授業を目指したい。 (60分)見学することを強いる、否定的なコメントをしないこと、同一教科・異教科の授業をそれぞれ必ず一度は見学することをルールとする。
		30 読書の推進、啓発を図ると同時に、図書および図書館の利用の推進について指導する。	65	63	2.00	3)各学年における人権教育の指針をしっかりとできるように努力したい。	
	情報システムの整備	31 読書の推進、啓発を図ると同時に、図書および図書館の利用の推進について指導する。	65	63	2.00	4)学年間の連携を図るために担当分掌が大方決まる⇒学年担当が学年での実践案を考える等の組織的な運用も検討したい。	
		32 読書の推進、啓発を図ると同時に、図書および図書館の利用の推進について指導する。	65	63	2.00	5)人権教育にもアクティブラーニングの手法を導入していきたい。	
教職員の資質向上	部活動の充実	33 読書の推進、啓発を図ると同時に、図書および図書館の利用の推進について指導する。	65	63	2.00	1)新型コロナウイルス感染症による中止が続く中で、各分掌とも臨機応変な対応と努力ができたので今後も継続したい。	2)「職業人インタビュー」は、単元の内容から「就業体験」というよりは、社会参画のためのコンテンツの一つであるという認識もと実施を検討したい。 1)ネット上のPDFファイル(雑誌バックナンバー、サマリーなど)を読むきっかけを、授業プリントの中で与えることを今後も継続したい。 2)司書もしくは図書担当者を配置できるように検討したい。 3)生徒の図書室利用推進を図るための工夫を今後も検討していく。 4)図書館専属の司書を配置、図書館を整理、貸し出しのためのネット整備などをする分掌も検討したい。 5)図書室でWiFiを活用出来るように、インターネットの検索など出来るような機器の準備を推進していく。 1)ICTによる技術・新の内容により生徒を取り巻く情報環境は複雑化しているため情報専門教員の配置について今後も検討したい。 2)情報に関する取扱いについては危険性を多く含むため日常から継続して考える機会を設けることも検討したい。 1)各学年団が綿密な計画のもと進路面談が実施されているので今後も継続したい。 2)早期から具体的な進路目標を考える機会を設け、実現に向けた取り組みを実施してきたので、今後も継続して推進したい。 3)授業内容の充実や家庭学習への取り組みの向上など、今後もさらに工夫を加え実施していきたい。 1)特別指導委員会を必ず開いて、委員の意見を拾う事が出来体制を維持するよう努力したい。 2)生徒指導事案など職員全員で共有し共通理解のもと指導していく体制が構築できるよう工夫したい。 1)キャンパスカウンセラーによる教育相談の教育効果は大きい。今後も継続して学年との連携を進めていきたい。 2)またも教員の研修を推進し、学年と保健部とが連携して、対応できるよう推進していく。 1)拡大進路部会での連絡を密にし、学年間の連携を図るとともに3年間の見直しを持つことができる指導をさらに充実したい。 2)各年度の振り返りによる次年度への目標を共通理解するなど再度確認したい。 1)職員の学校評価への関心を高め、改善を図るよう努力したい。 2)PTA理事会(教務部会、進路指導部会、生徒指導部会)を定期的に開き、学年団と部の連携を図りたい。 3)学年会議を学期初めに開き、放課後の時間を活用し、放課後の研修会を開き、より具体的な指導方法も検討したい。 4)学校評価は、「実施した」「実施しなかったか」を評価するのではなく、よりよく学校を改善する指標として扱いたい。 1)校内LANの積極的活用により業務の効率化を目指し、各種会議での導入を行い、ペーパレス化の一層の推進に務めたい。 2)情報セキュリティにおける研修開催など今後も検討していきたい。 1)部活動と学習の両立に向け、考査前の活動時間や終了時間を厳格化するよう職員で共通理解を図りたい。 2)本校のスタンスを明確にし共通理解を図ったうえで、短時間で集中した練習内容もさらに検討していきたい。 1)PTA理事会には校務運営委員会との全員が積極的に意見交換できるよう努力したい。 2)PTA理事等の勤務時間で行うように運用し、職員への共通理解をさらに深めたい。 3)学校ホームページは限られた分掌や範囲でしか情報発信が行われていないかという点や受信者の視点から見れば偏った情報になってしまっているのではないかと、今後も検討したい。 1)県警やパラインの警視を警察との連携で実施できた。今後も積極的な警視との連携を検討したい。 2)本校は避難所ではないが、それだけに災害時に本校の職員にどのような役割が期待されているのかも共有できるよう改善したい。 1)各科目内での科目内容への検討や議論は常态化しているかどうかの検証も必要である。常にアンテナを張り続けることを継続していきたい。 2)様々な研修会に積極的参加し、新しい知見を得るため努力したい。 3)授業公開週間を設け、同じ教科だけでなく、異なる教科の授業を見学し、お互いにコメントし、学校全体で作り上げる授業を目指したい。 (60分)見学することを強いる、否定的なコメントをしないこと、同一教科・異教科の授業をそれぞれ必ず一度は見学することをルールとする。
		34 読書の推進、啓発を図ると同時に、図書および図書館の利用の推進について指導する。	65	63	2.00	2)新型コロナウイルス感染症をきっかけに今後も自分の健康について深く考える機会となったので今後も継続できるよう努力したい。	
	開かれた学校づくり	35 読書の推進、啓発を図ると同時に、図書および図書館の利用の推進について指導する。	65	63	2.00	3)各学年における人権教育の指針をしっかりとできるように努力したい。	
		36 読書の推進、啓発を図ると同時に、図書および図書館の利用の推進について指導する。	65	63	2.00	4)学年間の連携を図るために担当分掌が大方決まる⇒学年担当が学年での実践案を考える等の組織的な運用も検討したい。	

学校評価アンケート(保護者)

回収率62.4%(前年比+0.7%)

2020/12実施

評価

- 4 そう思う
3 どちらかと言えばそう思う
2 どちらかと言えばそうは思わない
1 思わない

※4段階の評価の平均を%に換算しています。 例 平均2.8 → $(2.8 \div 4) \times 100 = 70.0$

評価項目	NO	評価の観点	2020	昨年	前年比	学校評議員からの意見
全般	1	本校に入学させて良かった。	86	83	3	11「学校行事や生徒会行事は、質・量とも適切であり充実している。」が2ポイント、16「学校の様子を保護者・地域によく知らせている。(学年通信、ホームページなど)」が3ポイントそれぞれ低くなっているという例外もありますが、そのような一部の軽度の例外を除き、おおむね評価を上げており、新型コロナウイルス禍のさなかにもかかわらず、須磨東高校への保護者の信頼は厚い状態が保たれていると思われます。
教育活動	2	本校の教育方針を、理解している。	73	70	3	
	3	本校は、掲げる目標達成に向け、着実に前進している。	73	71	2	
	4	本校では、他校にはない特色ある教育活動が行われている。	72	72	0	
	5	本校教職員は、熱心に教育活動を行っている。	75	72	2	
	6	進路指導は、3年間を見通した計画・内容になっている。	75	73	2	
	7	面談等により生徒一人ひとりに適切な進路指導に努めている。	76	73	2	
	8	生徒の悩みや相談に親身になって応じている。	72	71	2	
	9	生徒に基本的な生活習慣(生活態度、授業態度、服装、挨拶など)が身に付くよう努めている。	74	72	2	
	10	生徒指導の方針は、生徒及び保護者に理解されている。	71	69	1	
	11	学校行事や生徒会行事は、質・量とも適切であり充実している。	71	73	-2	
	12	生徒会活動や部活動を積極的に推進し、充実している。	76	75	1	
教育環境	13	生徒が授業に励める環境、施設・設備が整っている。	67	67	0	設問16, 27, 28 保護者とのコミュニケーションはどんな方法でとっておられるのでしょうか。紙媒体、ホームページ、メーリングリスト?保護者が本当に必要としているのはどんな情報でしょうか。
	14	清掃が行き届き、きれいであり、花壇等の整備もされている。	74	73	1	
	15	健康管理や安全指導などの教育を推進している。	75	72	3	
開かれた学校づくり	16	学校の様子を保護者・地域によく知らせている。(学年通信、ホームページなど)	71	74	-3	
	17	本校は、保護者及び地域社会から信頼されている。	77	74	3	
	18	本校の保護者は、PTA活動に関心が高く、学校に協力的である。	69	67	1	
	19	奉仕活動等の体験学習やボランティア活動を推進している。	66	66	0	
生徒の活動	20	本校生は、明るく元気である。	82	79	3	
	21	本校生は、学習にしっかりと取り組んでいる。(家庭学習、授業など)	75	72	4	
	22	本校生は、学生らしい身なり(服装など)をし、あいさつもできる。	80	77	2	
	23	本校生は、進路目標に向かって努力している。	79	76	4	
リーガルマインド	24	本校生は、一つの事象について複数の可能性を考え公正に判断して調和を保とうとする生徒が多い。	75			
	25	本校生は、学校やクラス・部活動などで何かを決める時などに自ら関わろうとする生徒が多い。	73			
	26	話し合いを行う時に、争点になる部分を整理して調整し解決策や落としどころを考えられる生徒が多い。	72			
広報	27	本校HPをよく見ている	64			
	28	本校HPは必要な情報が掲載されている。	67			

学校評価アンケート(生徒)
2020/12 実施

評価

- 4 そう思う
3 どちらかと言えばそう思う
2 どちらかと言えばそうは思わない
1 思わない

※ 4段階の評価の平均を%に換算しています。 例 平均2.8 → $(2.8 \div 4) \times 100 = 70.0$

評価項目	NO	評価の観点	2020	昨年	前年比	学校評議員からの意見
全般	1	須磨東高校に入学して良かった。	80	72	8	設問17 学校の環境、施設、設備についての満足度が他項目と比較するとやや低いですが、これを改善するには一定の予算が必要ではないかと拝察します。 改善傾向がみられるが、予算がないと根本的に解決するのは難しいと思われます。 施設、設備の老朽化が心配です。何か方策は考えられるでしょうか。 11「面談等により一人ひとりに適切な進路指導に努めている。」10ポイントも高くなっていることが印象的です。一部の軽度の例外を除き、軒並み、学校評価が大変よくになっています。須磨東高校への生徒さんの満足度は非常に高まっていると思われます。
	2	須磨東高校生としての誇りを持っている。	73	65	8	
	3	学校生活は充実している。	82	74	8	
教育活動	4	須磨東高校の教育方針を、理解している。	67	62	5	
	5	須磨東高校は、掲げる目標達成に向け、着実に前進している。	67	62	5	
	6	須磨東高校では、他校にはない特色ある教育活動が行われている。	72	69	3	
	7	須磨東高校の教職員は、熱心に教育活動を行っている。	69	65	4	
	8	須磨東高校の授業は、進学校として適切なレベルになっている。	65	63	2	
	9	進路指導は、3年間を見通した計画・内容になっている。	72	68	4	
	10	生徒の進路目標達成のための情報提供に努めている。	73	68	5	
	11	面談等により一人ひとりに適切な進路指導に努めている。	73	63	10	
	12	生徒の悩みや相談に親身になって応じている。	73	66	7	
	13	生徒に基本的生活習慣(生活態度、授業態度、服装、挨拶など)が身に付くよう努めている。	74	68	7	
	14	生徒指導の方針を理解している。	68	62	6	
	15	学校行事や生徒会行事は、質・量とも適切であり充実している。	66	63	3	
	16	生徒会活動や部活動を積極的に推進し、充実している。	77	70	7	
教育環境	17	生徒が授業に励める環境、施設・設備が整っている。	64	60	4	
	18	清掃が行き届き、きれいであり、花壇等の整備もされている。	62	63	-1	
	19	健康管理や安全指導などの教育を推進している。	73	66	7	
開かれた学校づくり	20	学校の様子を保護者・地域によく知らせている。(学年通信、ホームページなど)	71	68	3	
	21	須磨東高校は、保護者及び地域社会から信頼されている。	70	66	4	
	22	須磨東高校の保護者は、PTA活動に関心が高く、学校に協力的である。	65	65	0	
	23	奉仕活動等の体験学習やボランティア活動を推進している。	61	62	-1	
生徒の活動	24	須磨東高校生は、明るく元気である。	81	74	6	
	25	須磨東高校生は、学習にしっかりと取り組んでいる。(家庭学習、授業など)	73	69	4	
	26	須磨東高校生は、学生らしい身なり(服装など)をし、あいさつもできる。	76	70	6	
	27	須磨東高校生の生徒会活動や部活動は、活発である。	81	74	7	
	28	須磨東高校生は、進路目標に向かって努力している。	78	70	8	